

新町長

# 所信表明

◆基本理念

「各世代が笑顔あふれるまちづくり」

乳幼児期 子育て支援の充実は必要不可欠

- ・公園を改良し、発達を促せる場を提供
- ・待機児童ゼロの町を目指す

学童期 夢に挑戦できる環境の整備

- ・エアコンの小中学校への設置は、教育環境の充実の観点から必要
- ・スポーツ面では、1人でも練習できる環境を整備
- ・文化面では、本との出会いが出来る環境を整備
- ・学校給食費の減免制度での経済的支援
- ・福祉と教育の連携で、学習機会の増加

青年・壮年期 スポーツ環境の充実、文化環境の充実

- ・ボランティア活動や仲間が増やせる場を提供し、休日が有意義に過ごせる町を目指す

高齢期 生涯現役の社会づくり

- ・町営貸農園の計画、趣味の発表の場の提供
- ・介護予防に力を注ぐ

◆委員会報告

## 地域密着型通所施設の現状

～文教民生常任委員会～

平成29年4月1日から、定員18人以下の小規模通所施設は地域密着型に移行しました。地域密着型は、その市町村に在住する人しか利用できません。人口3万人弱の松伏町で、地域密着型事業所の現状はどうなっているのか調査しました。

町内には閉鎖したり、開所に至らない事業所がある一方で、「最後は自宅で迎えられるように」、小さいからこそ目が届く介護を進めている事業所もありました。

始まったばかりの改正地域密着型通所サービスなので、今後を注視する必要があるようです。

「今後の流れでは、10名以下の小規模事業所は淘汰されるかもしれないが、町の福祉サービスと考えたら残しておかなければならない形態だと思う。」調査させていただいた施設長の言葉です。



デイサービスの様子